事例No.	1432
公表年度	R3
団体の属性	町村
団体名	広島県安芸太田町

事例区分	一般行政

タグ	・人材確保・育成 ・研修会・勉強会 ・税財政

事例種類	人材育成・確保

事例内容・タイトル

林業就業者の育成～林業施業安全講習会の開催

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

広島県　安芸太田町（林業就業者の育成～林業施業安全講習会の開催～）

- 安芸太田町は林野率88.4%、人工林率50%であり，町民の林業に対する関心度も高い。しかし、整備の遅れた森林も多く、今後、林業の担い手確保が懸念されるため、後継者育成の取組を進める方針。
- 令和２年度においては、森林整備の担い手となりうる林業後継者や林業就業者を育成するために、チェンソー、草刈り機などの林業機械の安全講習と作業道作設研修会を開催し、林業に関する知識と技術の向上を図った。
- 令和３年度においては、小規模林業経営の取組を支援するために、モデル林づくりや、作業道作設研修及び森林経営等幅を広げて講習を行う予定である。

□　事業内容

林業機械安全講習・作業道作設研修の実施

- 伐採作業時における労働災害を防止するため、安全対策に係る知識及び技術の習得を目的とした。チェンソーの目立て、かかり木の処理などの技術及び作業の注意点を講習内容とした。
- 伐採木の搬出に必要な比較的小規格な作業道の作設研修を行った。

【事　業　費】２８６千円（全額譲与税）

【実　　績】参加人数　４３人

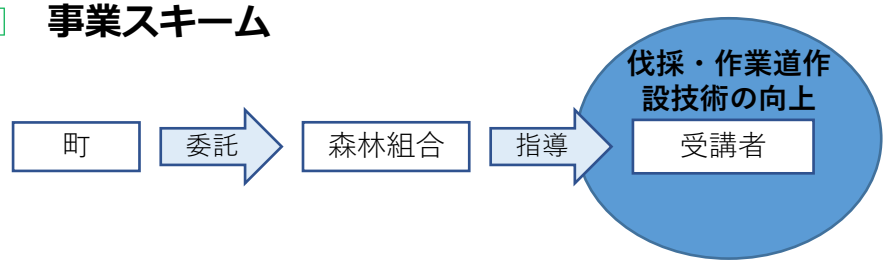


（林業機械安全講習の状況）



（作業道作設：講師による実演）

□　事業スキーム



□　工夫・留意した点

- 近年、小規模林業の取組について注目が高まっているため、作業安全講習と要望の多かった作業道作設研修を合わせて開催することで、多くの参加者を呼び込むことができた。
- 技術習得から実践につなげるには、継続した取組が必要であるため、講習会を今後も継続していく。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	39,568千円
②私有林人工林面積（※１）	9,251ha
③林野率（※２）	88%
④人口（※３）	6,472人
⑤林業就業者数（※３）	53人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より